

鶴が丘だより

2022年11月、3年ぶりに病院家族教室・講演会を開催いたしました。講演会を今回は、その模様をお送りします。

2022年度 病院家族教室講演会
「支えろ人も支えろ」

院長 後藤 晶子

3年ぶりに、この家族教室へお越しくださいました。この数年でオンラインでのやり取りが増え、直接お会いする機会も増えています。今日は、ぜひお隣にいらして、顔見知りの方とご挨拶を交わし、心なれれば幸いです。

1. コロナ後から今までの精神科医療の変化

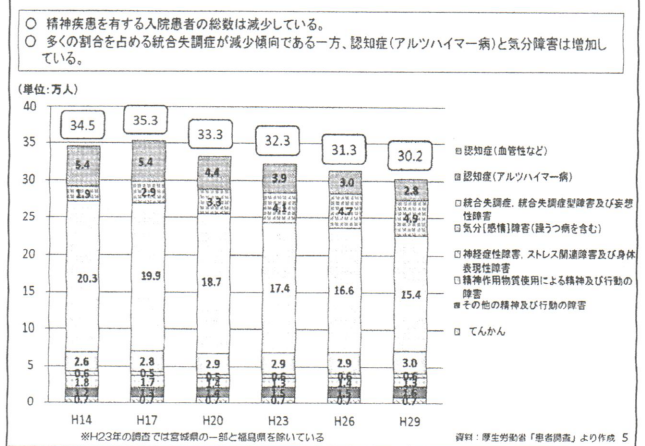
コロナ以前と比較して、環境の変化が起きている。うつ病が増加し、自殺も増加している。学校等の休業に気がつかず、指摘もできない。要因と関係の時間が増加している。女性の就業率も上昇しています。



◎ 政府の患者調査より

100人中120人に1人の割合で、統合失調症の有病率は減少傾向にある。学校や職場での精神疾患に関する啓発活動が浸透し、早期治療への意識が高まっている。

精神疾患を有する入院患者数の推移(疾患別内訳)



◎ 当院での変化

政府の統計と同様に、入院患者数は減少傾向にある。一方で、認知症や気分障害が増加している。また、自由入院が増え、外来患者も増加している。

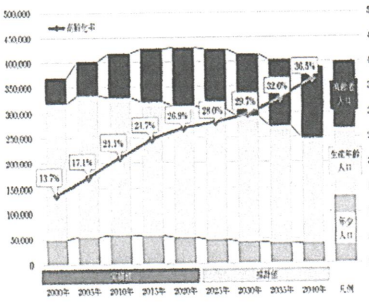
2023年度編集委員会一同

今年度も新たなメンバーを迎え、鶴が丘の更新などを行って参ります。
長津田の森診療所10周年や、MI LACOCO(訪問看護と計画相談)の開設なども特集する予定です。お楽しみに！



ある日の鶴が丘
新年度がスタートしました

▼ 総人口の推移 (2000年~2010年)



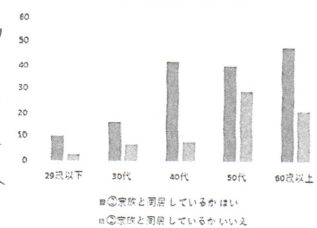
- ・ 2040年までに人口1割減
- ・ 生産年齢2割減
- ・ 高齢者は2割増
- ・ 高齢化率36.5%
- ・ 要介護者は2011~2020年で1.5倍

町田市では、2040年までに人口が2割減、生産年齢人口は1割減、高齢者は2割増と推計されています。また、要介護者は1.5倍に増加すると推計されています。この背景には、核家族化の進展や、高齢者の増加による介護需要の増加などが挙げられます。介護者の不足や、介護費用の増加が懸念されています。

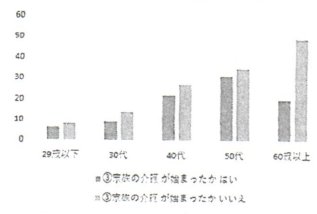
② 支える人を支える
④ 人口統計からわかること
⑤ 懸念されること

い始める方ご家族様と同居の方が多いです。40代以上の家族が、50代の方が多いです。

家族と同居しているか



同居家族に介護が必要になった方



2022年に、当院通院中の患者様へ実施しました。

④ 外来アンケートより

① 患者様の病状が変化に
② 家族様の体調が変化に
③ 不安な気持ちが強くなり、生活に支障をきたす
④ 皆が感情がぶつかり合う
⑤ サラッとした気持ちになる

母は4年前から認知症の症状があり、財産や鍵の探しが難しくなりました。認知症の症状は、物忘れや徘徊、不眠、食欲不振などがあります。認知症の症状は、徐々に悪化していき、最終的には日常生活が送れなくなる可能性があります。認知症の症状は、早期に発見し、適切な治療を受けることが大切です。

④ 介護をしているAの話

また介護中、ご家族様の体調を気にして、ご家族様の家事や経済的な不安も多く、利用していただく方が多いです。不安は、低傾向が見られる場合があります。不安は、低傾向が見られる場合があります。不安は、低傾向が見られる場合があります。

医療法人社団 鶴永会

鶴が丘ガーデンホスピタル
TEL: 044-988-3121
東京都町田市三輪線山 2-2133-1
長津田いこいの森診療所
TEL: 045-507-7656
神奈川県横浜市緑区長津田 4-11-14

マイナンバーカードが健康保険証として利用できます!



マイナ受付を
開始しました

今月の...
いろいろカルタ
逆さ思考で
価値観変わる
気持ちゆったり
聞き上手